

# 1 神戸地域アクションプラン

(1) 地域の農林水産業・農山漁村を取り巻く状況（現状・課題）	5
(2) 地域のめざす姿	10
(3) 基本方向と取組内容	12
基本方向1 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開	
推進項目1 スマート化による新しい農林水産業の実現	12
推進項目2 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開	13
推進項目3 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化	16
推進項目4 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進	17
推進項目5 豊かな海と持続的な水産業の実現	17
推進項目6 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上	18
推進項目7 食の安全を支える生産体制の確保	19
基本方向2 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出	
推進項目8 特色を活かした活力ある地域づくりの推進	20
推進項目9 農山漁村の防災・減災対策の推進	21
推進項目10 豊かな森づくりの推進	22
基本方向3 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実	
推進項目11 食と「農」に親しむ楽農生活の推進	23
推進項目12 「農」と多様な分野との連携強化	24
推進項目13 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進	24
(4) 行動計画	26

# 1 神戸地域アクションプラン

## (1) 地域の農林水産業・農山漁村を取り巻く状況（現状・課題）

神戸地域は、本県でも人口が集中する京阪神地域に位置し、県内第1位の人口を擁しています。観光、商取引等で他地域から訪れる人も多く、まさに大消費地を形成しています。

また、食料品製造業、レストランやホテル・旅館を含めると、県下の食関連事業所数（民間）の約35%が神戸市内にあります。

このように、生産者の身近に多くの消費者や流通加工業者等が存在し、これらの人々との連携や交流をすすめることで、農林水産業のさらなる活性化が期待できる地域です。

そして、大都市部に隣接する田園地帯、広大な六甲山麓、瀬戸内海を有する神戸地域は気候、風土を生かし、北区では花、酒米、いちご等の野菜、西区では葉物等の野菜、果樹、花きや酪農、肉用牛の生産等が盛んで、多彩なブランド農畜水産物が育まれています。

また、近年の都市住民の農林水産業に対する理解と関心の高まりの中、神戸地域では、数多くの観光農園に加え、兵庫楽農生活センター、六甲山牧場、農業公園、フルーツ・フラワーパーク、海づり公園、森林植物園等の観光農林水産業施設や市民農園が整備されており、交流・体験の場として広く活用されています。

さらに、食の安全や安心、地産地消に関心が高まるなか、生産者と消費者の顔の見える関係が支持され、多くの農水産物直売所が開設され、盛況を呈しています。

一方、神戸地域の農林水産業をとりまく情勢は、高齢化の進展、米価などの農水産物価格の低迷などによる経営環境の悪化、輸入農水産物の増加、遊休農地や放置された森林の増加、また、コロナ禍での業務需要減少による市況の低迷及び不安定な社会情勢による資材費の高騰等、多くの課題に直面しています。

TPP11 や日欧・EPA、日米貿易協定の発効など経済活動の国際化がさらに進展しており、今後も世界規模で生じる情勢変化にも対応していかなければなりません。地域の農林水産業が将来にわたり、生産量を安定的に確保するとともに、マーケットインの発想に基づき、産地間競争に打ち勝てる農畜水産物のブランド化、6次産業化を進める必要があります。

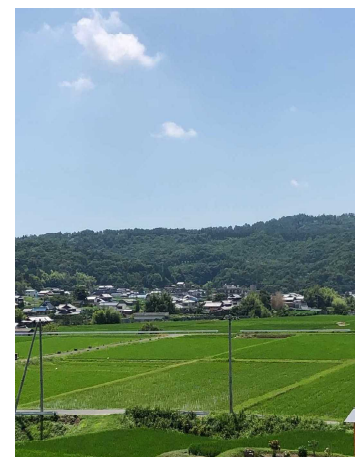
また、人の命の源となる食料生産の場でもある農山漁村は、豊かな自然や美しい



生産と消費地の混住(西区)



伊川谷町のハウス群(西区)



田園風景(北区)

景観の形成、土砂・洪水等の災害の防止や水源のかん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止など多くの機能を有するだけでなく、住民のゆとりややすらぎの場ともなっており、これらを適切に維持保全していくことが必要です。

## ア 農業

神戸地域は大消費地に近接し、施設野菜や果樹は県内でも最大の産地です。

野菜は特に鮮度が要求されるこまつな、ほうれんそう、しゅんぎくなど葉物野菜の大産地です。近年は鮮度保持包装 (FG: フレッシュ・グリーン) 技術の普及により、結束が特徴であった荷姿を袋詰めとし、また、その作業を委託する施設が開設されたことで新規就農者等も生産を拡大しています。



葉物野菜の FG 包装 (西区)

施設トマトや施設いちごも県下有数の産地です。トマトは施設内環境制御技術を導入した施設もあり、温度や湿度、CO<sub>2</sub>等の環境モニタリングに基づいた高度な栽培管理が行われており、いちごは、主力の土耕栽培から近年では作業負荷の少ない高設栽培が普及しつつあります。また、観光いちご狩りがメインの北区では、新型コロナウイルスの影響からの回復が望まれています。



神戸いちじく (西区)

露地野菜では、消費地に近く、鮮度の高いスイートコーンやブロッコリーの栽培が増加しています。

果樹の主な栽培品目は、いちじく、なし、もも、ぶどう (生食用、ワイン用)、かき、さんしょうなどがあり、消費地近接の立地を活かし、完熟で鮮度の高い生産物を出荷、直売、観光を行っています。また、加工による高付加価値販売への取組も進んでいます。課題としては消費者嗜好に合わせた品目や品種への改植、新規栽培者等の担い手確保、規模拡大に向けての労働力の確保があります。



神戸花物語で展示される花壇苗 (垂水区)

花きは北区では生産者が独自に育成してきたシンテッポウユリのほか、チューリップやキクなどが栽培されています。西区では花壇用苗物と、トルコギキョウ、ストック、カーネーションなどの施設切花栽培が盛んです。担い手の確保育成による生産量の維持が課題ですが、近年は花き消費が減少傾向にあり、価格の低迷からコストの低減や新たな販路の拡大など販売戦略が必要です。

環境創造型農業については、神戸市農業環境規範「こうべ版 GAP」が導入され、「こうべ旬菜部会」を中心とした生産者団体や関係者が協力して推進しています。大都市近郊で安全で安心な農産物を求める実需者とのつながりも強く、順調に増加しています。

担い手の確保・育成については、年間を通じて就農相談も多く、就農希望者には



地域就農支援センターを窓口として、神戸市、JA 兵庫六甲、兵庫楽農生活センター、一般財団法人神戸農政公社との連携により、就農前のインターンシップ研修をはじめ、就農計画の策定支援、就農後の重点的指導等一貫した支援を行い、多くの新規就農者を確保・育成しています。しかし、地域によっては、集落機能の低下や耕作放棄地の増加が懸念されることから、集落等の地域計画の作成を通じ、地域の中心となる担い手として集落営農組織、認定農業者、新規就農者等を地域の中心となる経営体として位置づけ、担い手等への農地の集積・集約化及び法人化の促進を進めることが必要です。

## イ 畜産業

畜産は神戸ビーフとなるブランド肉用牛の肥育が盛んに行われています。近年の子牛市場価格の高騰、円安による輸入飼料の価格上昇の影響を受けにくくするため、繁殖・肥育一貫経営が進んでいます。

その結果、労働時間が増加し、省力化の必要があることから、分娩監視装置等の ICT 機器の導入が進みつつあります。

酪農経営では一頭当たりの生乳生産量は増加しつつありますが、国内外の産地間競争に対応した乳質、生産性の一層の向上につながる対策が必要です。市内では、搾乳ロボットが3戸で導入され（県内導入戸数：8戸）、今後搾乳ロボットの導入を計画する農家が増える見込みです。後継者確保のために、ICT 機器の導入を推進し、より省力的で生産性が高い経営モデルの確立が必要です。



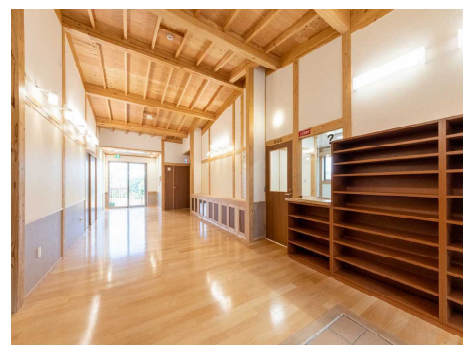
繁殖・肥育一貫経営(西区)

## ウ 森林・林業

神戸地域の森林面積は21,986haで、その大部分が六甲山系に属します。林野率は約40%と県平均67%と比べて小さく、またスギ・ヒノキの人工林も8%と少なく、クロマツ等の砂防樹やコナラ、アラカシ等の広葉樹が大半を占め、木材生産中心の地域とは異なります。また、都市に隣接していることから、保健・レクリエーション機能や景観機能など、都市住民に憩いや安らぎを与えている一方で、近年土砂災害等が激甚化、頻発化するなか、災害防止機能へのニーズも高まっています。

このため、地域の要請に対応し、森林の特性や求められる機能にそった森林整備を進める必要があります。整備の推進にあたっては、国、県、神戸市による公的な森林管理をはじめ、森林ボランティア団体や企業等の多様な主体との連携のもと、取り組む必要があります。

また、木造住宅戸数など、木材需要の高い神戸地域において、県産木材の利用を



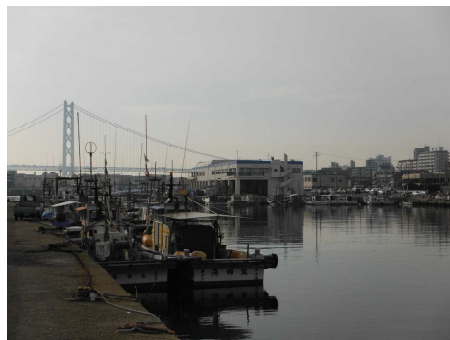
公共施設の内装木質化(西区)



促進するため、建築部材での県産木材のシェア拡大や公共施設等での木造・木質化等を推進するとともに、消費者に対して、木の良さを知る木育や暮らしの中での木材利用など、木材利用の意義、効用等についての普及啓発を図る必要があります。

## エ 水産業

神戸地域は大阪湾に面し、イカナゴやイワシシラスを対象とした船びき網漁業をはじめ、小型底びき網漁業、刺網漁業、一本つり漁業等多種多様な漁船漁業が営まれています。また、冬期には、須磨ノリを生産するノリ養殖業も盛んに行われています。



垂水漁港(垂水区)

しかしながら、近年、海水中の栄養塩濃度の減少は養殖ノリの色落ち被害だけでなく水産資源の減少にも大きな影響を及ぼしています。「豊

かで美しい海」を再生するため、栄養塩供給や海底環境の改善のための取組、栽培漁業や漁業者の自主的な資源管理の取組を進める必要があります。

また、他地域同様、厳しい経営環境が続く中、経営体数は減少傾向にあります。当該地域では、新規就業者育成に熱心に取り組まれています。広い視野と経営感覚を持った意欲ある若手漁業者を育成していく必要があります。

資源水準の悪化や漁業経営体の減少に伴い漁業生産量も減少傾向にあり、漁村地域全体の活力の低下が懸念されます。水産物を地域資源として活用した地域の活性化を図っていく必要があります。

## オ 農山漁村

神戸市が定めている「人と自然との共生ゾーンの指定等に関する条例」に基づき、地域住民の参画と協働により「里づくり」の取組が進められています。地域住民自らが地域農業や有形無形の地域資源を見直し、農業の振興や農業・農村ビジネスの展開を進め、これらを保全・活用する農山村づくりを推進しています。



改修後の林谷池(北区)

また、地域創生戦略に基づき、農山漁村地域における定住人口の増大に向け、農水産関連の雇用の創出、観光農林水産業による交流人口の増大が求められています。

神戸市の農業用水の多くはため池に依存していますが、ひとたびため池が決壊すればその被害は甚大です。ため池管理者に適切な管理を指導するとともに、ため池の健全度を把握し、危険性の高いため池については改修工事を進める必要があります。

また、神戸市をはじめ市街地を直下に擁する六甲山系は、脆弱な地質でかつ活断層が集中していることから、豪雨等により阪神大水害（1938年）や阪神・淡路大震災（1995年）等の大災害にたびたび見舞われました。このため、山地災害の復

旧及び山地災害の未然防止を図るため、山腹崩壊地の復旧や治山ダムの整備を着実に推進してきました。このようななか、近年、局地的豪雨が増加傾向にあり、土砂・流木災害が激甚化・頻発化していることから、一層の治山事業による山地防災・土砂災害対策の推進が求められています。

生息数の増加や生息範囲の拡大に伴い、農業被害や生活環境被害を発生させているイノシシ、アライグマ等については、その被害軽減を図るため、神戸市や地元自治会、猟友会等との連携を強化し、防護・捕獲・普及啓発を柱とした総合的な対策を継続していくことが必要です。

また、漁村の安全を確保するため、老朽化した漁港施設の機能保全並びに地震、津波時の被害軽減と早期復旧のための流通拠点漁港（垂水漁港）の防災対策が必要です。

## (2) 地域のめざす姿

### 都市と農を結ぶ「農都・神戸」の実現

都市住民と農家の交流による活気ある里山暮らしが実現する「農都・神戸」の展開に向け、新鮮で安全・安心な農畜水産物の生産拡大やブランド化を進めます。

また、安心して暮らせる地域の実現に向け、農業用ため池では、水害・地震、漁港においては、津波・高潮に対する防災機能を強化するとともに、六甲山等での森林保全・土砂災害対策やイノシシの被害対策を進めます。

#### <農業経営モデル>

##### 地域農業の中心となる経営モデル（所得目標 600 万円）

営農類型	モデルのポイント	経営形態	労働力	経営規模
施設野菜	・市場や直売所等、都市近郊の立地を活かして多様な販売先を確保	家族経営	常時 3人 (本人+家族2人) 臨時雇用 3人	葉物野菜 延べ 2.5ha (0.5ha×5回転) (こまつな、みずな、 きくな、ほうれんそ う等)

##### 地域農業をリードする経営モデル（所得目標 1,000 万円）

営農類型	モデルのポイント	経営形態	労働力	経営規模
施設野菜	・高度環境制御技術の導入により、安定多収を実現 ・農福連携（障害者の雇用等）	法人経営	常時 2人 (本人+雇用1人) 臨時雇用 12人	トマト(施設) 0.5ha

#### <畜産業経営モデル>

##### 地域畜産業をリードする経営モデル（所得目標 1,000 万円）

営農類型	モデルのポイント	経営形態	労働力	経営規模
但馬牛繁殖・肥育一貫	・繁殖と肥育の一貫経営を導入することにより、収益性の高い畜産経営を実現	法人経営	常時 4人 (本人+役員1人、雇用2人) 臨時雇用 1人	繁殖牛 75頭 肥育牛 200頭 飼料作物等 (自給飼料) 21ha



<水産業経営モデル>

瀬戸内海漁業をリードする経営モデル（所得目標 1,000 万円）

経営類型	モデルのポイント	経営形態	労働力	経営規模
漁船漁業・養殖業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁船漁業とノリ養殖業の複合経営</li> <li>・ノリ養殖業の協業化による効率的な経営の実践</li> </ul>	グループ経営	常時 5人 (本人+共同経営4人) 臨時雇用 0人	ノリ養殖生産枚数 920万枚 漁船漁業水揚金額 (マダコ、カレイ等) 500万円

### (3) 基本方向と取組内容

#### 基本方向 1 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開

##### 1 スマート化による新しい農林水産業の実現

担い手の高齢化や労働力不足の対策として、ロボット技術や情報通信技術（ICT）を活用して、省力化・高品質生産を実現する、新しい農林水産業の実現を目指しています。

###### （スマート農業の展開）

水稻栽培におけるドローンセンシング技術を活用した生育診断や多機能式自動給水栓を利用した水管理の省力化など、地域農業の課題に適応したスマート農業技術の導入・実証します。

また、トマト及びいちご等の施設園芸において、生産性の向上や効率化、高品質化等を図るため、高度な ICT を活用した統合環境制御技術の導入を推進します。

関係機関等と連携してスマート農業推進体制を整備し、地域の課題解決につながるスマート農業技術の選択、実証を行い、地域への技術普及、定着を推進します。

###### （スマート畜産業の展開）

規模拡大やコスト削減、後継者の確保等を図るために個体や群の状況に応じた管理省力化機器の導入を推進します。

肉用牛繁殖経営では、自動給餌機、発情発見や分娩監視等の通報システム等の生産性向上に寄与する機器の導入を推進します。

酪農経営では、搾乳ロボットや自動給餌機等の導入を推進します。また、繁殖成績や疾病記録、乳量、乳質、経営状況等の情報をクラウドサービスにより管理し、スマートフォン等で確認することにより経営改善を推進します。さらに、乳中に含まれるホルモン等から、乳牛の健康状態や繁殖管理を個体ごとに把握できるシステムの利用を推進し、飼養管理技術の向上を図ります。

###### （スマート林業の展開）

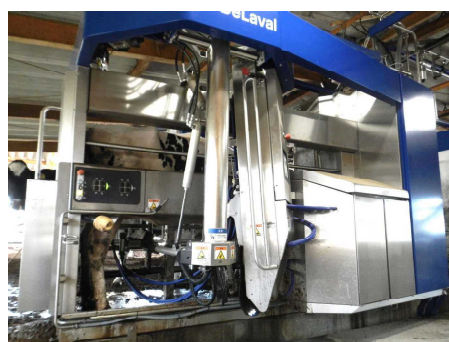
森林 GIS からの森林資源情報を神戸市等と共有化することにより情報の新たな活用へつなげ、より効果的な森林管理や効率的な森林施業を進めます。



ドローン技術（北区）



ドローンのテイクオフ（北区）



搾乳ロボット（西区）

### （スマート水産業の展開）

水産業では、産地市場における電子入札システムの導入や、ICT 等の活用による漁場環境情報や漁獲データ等の収集・共有等により、省力化・効率化を図ります。

#### 【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
施設園芸における高度な環境制御技術の導入面積 (ha)	5.1	5.6	5.8	6.0	6.2	6.4	
畜産における主なスマート畜産技術の導入経営体数 (経営体)	3	9	12	15	15	15	

## 2 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開

### （本県の強みを活かし需要と直結した生産の新展開）

生産力の高い施設野菜に取り組む担い手の確保や専業農家の規模拡大を促進するため、補助事業の活用等により園芸施設導入の初期投資の負担軽減を図ります。

JA 兵庫六甲育苗センターからの野菜苗の供給や葉物野菜での JA 兵庫六甲神戸西パックセンターを利用した FG（鮮度保持包装）出荷による調製作業など省力化と計画的な施設利用により、栽培面積の増加、品質向上など農家が生産に注力できる体制づくりを推進します。

生産性の高い先進的な施設園芸を拡大するため、トマト、いちご等において、環境制御等の ICT 技術の導入を進めるとともに、モデル農家の育成に取り組みます。

需要が増加している加工・業務用野菜の生産に取り組む集落営農組織等の大規模経営体を育成するため、低コスト・省力化技術の検討や加工業務用に適した品種選定等を進めます。

近年、野菜の施設栽培と露地栽培を組み合わせ、少量多品目を直売所に出荷する新規就農者の増加が見られます。これらの新規就農者や認定農業者等の経営計画を達成するため、補助事業や制度資金を活用した生産施設導入等を支援します。

産地の規模拡大や生産者の経営安定を図るため、実需者ニーズや栽培体系に合った新たな品目や品種の導入を支援します。機械化による省力化や施設整備を整え、量販店と連携できる大規模経営体等の育成を支援します。

果樹では、都市近郊の立地を活かして消費者嗜好を把握し、直売所等を活用した直接販売、市場向け等販売チャンネルに合わせた優良品種・樹種への計画的な改植・新植を推進します。また、生産量拡大のため栽培技術の改良、新しい技術の導入に向けた検討・実証、老朽園の改植等を進めることで収量、品質向上を図ります。

花きでは、神戸で生まれたシンテッポウユリ、二輪菊の優れた品種・系統の維持、



JA 兵庫六甲育苗センター（西区）



環境制御によるトマト栽培  
（北区）



生産を支援します。多様な実需者や消費者のニーズに対応しながら、経営効率向上を目指した省力化、コスト低減技術の導入を推進します。また、夏季の異常高温により品質低下を招いていることから、遮熱資材の導入や高温に強い品目の導入等により安定生産を推進します。

また、子供達が花に親しむ体験を通じて、花に対する知識や関心を高める「花育活動」を推進し、神戸の花のファンを増やすことで新たな需要創出につなげていきます。

主食用米は、高温対策を徹底することで、需要に応える高品質な生産を推進します。さらに、地域と連携し学校給食向け主食用米の生産を進めます。

酒造好適米は、温暖化の影響による充実不足等の品質低下を改善するために、高温対策や適期作業の徹底を図ります。あわせて酒造会社との連携を強化し、実需者のニーズにあった山田錦の生産・提供を推進します。

大豆は、北区の特産品である「北神みそ」の原料として生産されています。排水対策等の基本技術の徹底により、収量及び品質を確保し、生産の安定化を図ります。

当地域は、大消費地に立地する有利性を活かし、都市農業として持続的に発展できる収益性の高い農業経営を推進します。また、地域の直売所や飲食店との連携により、地域と共生できる営農を推進するとともに、都市住民が農業にふれあう、市民農園や農業体験農園の開園ができるように支援します。



山田錦の栽培（北区）



シンテッポウユリ（北区）



ぶどうほ場（西区）



中学校での花育活動（西区）

#### （次代を担う経営力の高い担い手の育成）

経営の永続性を高めるため、個別経営体の法人化や、集落営農の組織化や法人化、広域法人化を進めます。法人設立時、法人化後の経営を早期に軌道にのせるため、中小企業診断士等の専門家と連携した支援を行います。

神戸地域は都市と農村が近接しているため、就農希望者にとってよい立地条件です。地域就農支援センターにおいて、きめ細やかな就農相談を実施するとともに、就農計画の策定、資金の確保ならびに早期の技術習得等について支援します。

また、就農希望者の受け入れをより円滑に行えるよう、地域・産地単位で研修・就農・生活をパッケージで支援する「地域主導型・就農定着応援プロジェクト」の取組の拡大を推進します。



関係機関による新規就農者支援（西区）

併せて地域計画の作成により、集落営農組織を地域の担い手として支援・育成します。また、スマート農業技術の導入により作業の効率化を図り、若者や女性等新たな担い手が活躍する継続的な組織運営を推進します。

地域農業の新たな担い手、さらには地域経済の活性化を見据え、農業参入を希望する企業の円滑な参入と地域への定着を促進し、農地の確保にあたっては、神戸市と連携し、農業参入企業の受け入れを検討する地域において、農地バンクを通じて集約化された一団の貸出可能農地の創出や地域側の受入れ条件の整理に向けた支援を行います。

農産物加工の開発や直接販売に取り組み、地域の農産物の高付加価値や販売拡大を実践する経営体に対し、専門家派遣の活用による農業経営の改善と発展を支援します。

集落営農組織に関しては、構成員の高齢化が進む中、後継者及び担い手確保体制を整え、組織の法人化による経営内容の明確化と継続性の高い集落営農組織の育成を図ります。

### **（農地利用の最適化と効率的な生産基盤の確立）**

農業振興地域制度・農地制度の適正な運用により、計画的で秩序ある土地利用を推進します。農地の条件整備や集落の共同活動による農地の保全管理等により耕作放棄地の発生を防止するとともに、市、農業委員会等による巡回指導と連携して、その解消を進めます。

地域・集落においては、中心となる経営体や将来の農地のあり方、中心となる農業者とそれ以外の農業者の役割分担を踏まえた地域農業のあり方を明確にするため、地域計画の作成を進め、農地中間管理事業の活用等により、中心経営体への農地の集積・集約化を推進します。地域計画の作成にあたっては、密接に関係する「多面的機能支払制度における地域資源保全管理構想」の作成と一体的に進めます。

また、未整備地では地域特性や営農計画に即したほ場の大区画化を検討し、生産性・汎用性の高い優良農地の確保を図り、地域の中心となる経営体への集積・集約化を推進します。

ほ場整備時に施工した農業水利施設について徐々に経年劣化が見られるため、施設管理者から状況を聞き取り、必要な対策とその適切な時期を策定し、長寿命化を図ります。

ほ場整備が完了した土地改良区については「あり方検討会」において、継続的な維持管理体制の確立を図るよう啓発します。

### **（環境創造型農業（人と環境にやさしい農業）の取組拡大）**

試験研究等で技術確立された土づくり技術や、化学肥料・化学合成農薬低減技術等について、実証ほや研修会を活用し地域に適した栽培技術の組み立てを行い、環境創造型農業の取組を推進します。地域内でのたい肥供給体制を整備し、畜産農家と生産農家との連携を深め、地域内で有効な土づくり資材としてたい肥の活用を進めます。また、緑肥作物等を活用して化学肥料低減技術を推進します。

高度な栽培技術を必要とする有機農業の取組を拡大するためには、新たに取り組む農業者へ生産技術の習得支援を行い経営の早期安定化を支援します。

併せて、新たな販売先へのイベント等による兵庫認証食品のPR活動を展開し、消費者への理解促進を図ります。

## 【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
新規就農者数（人）	31	31	31	31	31	31	
実質化された人・農地プラン策定集落数（集落）※	18	38	48	58	68	78	

※ 「人・農地プラン」は、令和5年4月の改正農業経営基盤強化促進法により法定化され、「地域計画」として内容が見直されたことから、上表はR5以降の計画値は参考値となります。

### 3 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化

畜産経営の基盤強化を図るため各種補助事業の有効活用や制度資金利用等による施設整備と増頭を支援し、規模拡大を推進します。

離農予定の畜産農家と経営基盤を持たない畜産への就農希望者をマッチングし、親方からの技術・施設の継承を進めるとともに、円滑な就農と早期の経営安定を支援します。

また、畜産農家の労働負担の軽減を図るため、搾乳ロボットや自動給餌機等の省力化機械の導入を支援します。

稲発酵粗飼料の増産など水田の有効活用による耕畜連携を推進し、生産コストの低減及び省力化を推進します。

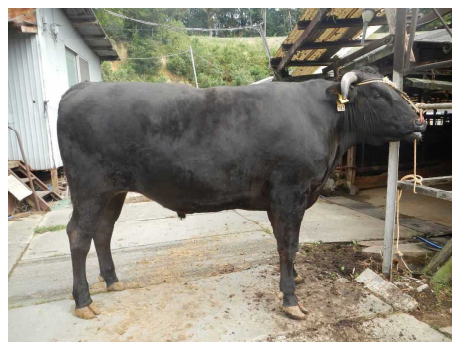
乳用牛等への但馬牛受精卵移植の普及を酪農家に勧め、また、預託制度への補助事業による支援を行うことにより但馬牛の増頭を図ります。

安全・安心で高品質な生乳生産と管理を継続的に実現するため、適正な飼養管理と飼養環境の改善、搾乳機器の衛生的な管理を進め、また、規模拡大により生産基盤強化を図るために、牛舎整備や機械導入を支援し安定した酪農経営を推進します。

また、高能力乳用牛の導入や雌牛が90%の確率で生まれる雌判別精液の利用、さらに高能力受精卵の活用支援による後継牛の確保により生乳生産の拡大を推進します。

併せて、神戸ポークのPR推進とともに、鶏卵、豚肉の生産振興を図ります。

堆肥の生産については、適正な処理の指導や良質堆肥生産技術の指導を継続します。畜産経営の規模拡大に伴い、堆肥の利用量の拡大も必要となります。そのため、広域的な営農組合等と畜産農家とのマッチングを促進するほか、耕種農家に対する堆肥保管施設の整備、堆肥散布機械等の導入を支援し、耕畜連携による堆肥の利用拡大を推進します。



神戸市で肥育された但馬牛（西区）



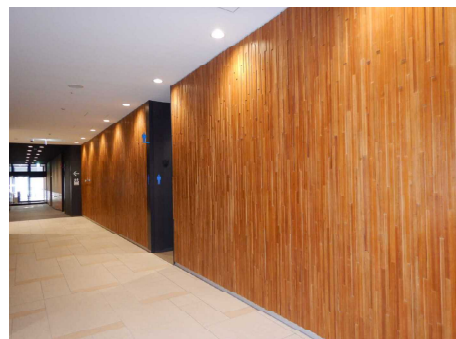
## 【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
但馬牛繁殖雌牛頭数（頭）	317	377	377	377	377	377	

### 4 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進

スギ、ヒノキ等の人工林率は8%と低いですが、北区にはまとまった面積の生産森林組合有林や協同組合有林があり、都市部近郊の貴重な木材資源となっており、国庫補助事業や森林環境譲与税を活用した適正な森林整備を進めます。

また、公共施設等への県産木材の利用を推進するため、川上から川下までの県産木材にかかわる関係者（県、市町、木材業者、設計者、工務店等）を構成員とする「ひょうごの木」利用拡大神戸・阪神地域協議会を核とし、人口集中地域で木材の大消費地としての地域特性を生かした県産木材の利用を推進します。



内装木質化（新長田庁舎）

### 5 豊かな海と持続的な水産業の実現

#### （豊かで美しい海の再生と水産資源の適正管理）

「豊かな海」の再生を目指し、漁業者による海底耕うんを始めとした豊かな海創生活動による藻場や浅場等の生物生息環境の保全・回復などの取組を推進します。

改正された「瀬戸内海環境保全特別措置法」及び「環境の保全と創造に関する条例」に即し、県内各市町の下水処理場の栄養塩管理運転の継続やため池のかいぼりなどの農業等と連携した栄養塩供給対策や、漁業者の森づくり活動など森・里・ため池・川・海が連携した陸から海への栄養塩供給を促進します。

また、海域の生産力の底上げを目指し、魚介類の産卵・育成場（藻場）等の整備を進めるとともに、老朽化した増殖場の機能を回復・強化するための調査研究開発を進め、技術開発を推進します。

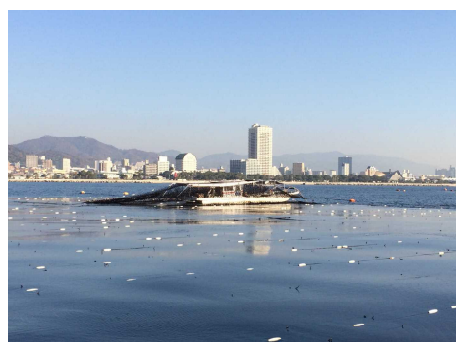
豊かな海の再生に向け、海底の堆積物を摂取して分解し、海中に放出するため、豊かな海の再生に効果が期待できるナマコ・アジアカエビの量産化・放流など、新たな栽培漁業を展開します。

改正された漁業法に即し、科学的な資源調査に基づく漁獲可能量の設定など新たな資源管理システムにより、持続的な水産資源の利用に向けた資源管理を推進します。

#### （漁業の担い手確保と経営力の強化）

経営感覚に優れた後継者等の確保・育成のため、漁船などの貸与制度により新規漁業就業者等の設備投資の負担を軽減します。

県漁連等関係機関と連携して国の人材育成支援



ノリ養殖（神戸市地先）

事業等の活用により漁業現場での長期研修等を支援し、次世代を担う漁業者の確保・育成を推進します。

水産業を核とした地域の活力を再生する取組を定めた「浜の活力再生プラン」に基づき、収益性の高い漁業を実現できる漁業者を育成します。

漁業者の経営支援を担う漁協職員や将来の漁村をリードする人材を育成するため、「大輪田塾」等を活用した人材の確保・育成を推進します。

収益性の高い養殖業の確立のため、ノリ養殖の収益性の向上に向けて、品種改良、加工・流通の効率化、品質向上及び販路拡大などの対策を総合的に推進します。

養殖業の成長産業化に向け、サケ科魚類の育成の効率、ワカメ種苗の自家採苗技術等、開発された新技術の普及を推進します。

持続的な漁業の実現のため、収益性の向上と適切な資源管理の両立に向けた取組や複合経営を目指す漁業者などに、漁船やエンジン・漁具等をリースし、設備投資にかかる負担を軽減して、沿岸漁業の収益性の向上を図ります。

### 【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
漁場環境改善面積 (ha)	24	28	28	31	31	31	

## 6 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上

神戸産農林水産物や加工品等の開発や販売促進へ支援するとともに、兵庫県認証食品の積極的なPRを行い、流通拡大を図ります。

地域とともに元気な「農」の将来像を描き、生産技術の普及指導に加え、地域の特色を活かして、生産・加工・流通・消費において農商工連携や産学連携、農福連携等による新たな仕組み（フードチェーン）づくりを進め、生産力の向上や地域の担い手育成、実需者にニーズにあった商品づくりを推進します。



兵庫県認証食品（北区）

食品関連企業等が多数立地する神戸地域の強みを活かし、農業者と企業のマッチングや消費者交流活動等を通じた新商品の開発など、農業者による新たな取組を支援します。また、神戸ビーフなどの神戸産農畜産物の輸出に関して、品目や輸出国、輸出量の拡大に向けた取組を支援します。

### 【成果指標】

	現状	計画					備考
	(R1)	R3	R4	R5	R6	R7	
兵庫県認証食品認証数(品目)	315	317	319	321	323	325	